

# 課題 14

## 擬音語・擬態語の読解

○ 文<sup>ぶん</sup>し<sup>し</sup>よう<sup>よう</sup>を<sup>を</sup> 読<sup>よ</sup>んで、 下<sup>した</sup>の も<sup>も</sup>ん<sup>ん</sup>だ<sup>だ</sup>いに<sup>に</sup> 答<sup>こた</sup>え<sup>え</sup>ま<sup>ま</sup>し<sup>し</sup>よう<sup>よう</sup>。

どようび  
土曜日<sup>どようび</sup>に、かぞく<sup>かぞく</sup>で 海<sup>うみ</sup>に 行<sup>い</sup>きまし  
た。 天<sup>てん</sup>気<sup>き</sup>が よく 外<sup>そと</sup>は ぽかぽか  
して いました。

うみ  
海<sup>うみ</sup>は 太<sup>たい</sup>よう<sup>よう</sup>の 光<sup>ひかり</sup>で 水<sup>みず</sup>が きらら  
ら ひか<sup>ひか</sup>つて いました。

いもうと  
ぼくは 妹<sup>いもうと</sup>と すなはまで あそびま  
した。 すなは、さらさら して いました。  
みず  
水<sup>みず</sup>たまりには 魚<sup>さかな</sup>が いました。 魚<sup>さかな</sup>が

み  
すい<sup>すい</sup>すい およいで いるのを見<sup>み</sup>て 妹<sup>いもうと</sup>は、  
に<sup>に</sup>こに<sup>こ</sup> して いました。

うみ  
すなはまで あそんだあと 海<sup>うみ</sup>で お  
よぎました。 ぼくは 足<sup>あし</sup>を 力<sup>ちから</sup>い<sup>い</sup>っぱい  
うごかしたので 水<sup>みず</sup>が ばしゃばしゃと  
しぶきを あげました。

いもうと  
妹<sup>いもうと</sup>が、ふかふかと うきわに ゆられ  
て います。

かえ  
帰<sup>かえ</sup>りの 車<sup>くるま</sup>は、 がたがた ゆれまし  
たが、妹<sup>いもうと</sup>は つかれて すやすや ねむっ  
て いました。

うみ  
また、海<sup>うみ</sup>に あそびに 行<sup>い</sup>きたいです。

1 上<sup>うえ</sup>の文<sup>ぶん</sup>し<sup>し</sup>よう<sup>よう</sup>に あう<sup>あう</sup>よう<sup>よう</sup>に □ か

ら よう<sup>よう</sup>すを あらわす ことばを

えらんで かきましよう。

① 外<sup>そと</sup>は 〔 〕 して いる。

② すなは 〔 〕 だ。

③ 妹<sup>いもうと</sup>が 〔 〕 うきわ  
に ゆれる。

さらさら りらりら ゆらゆら  
がたがた ふかふか ぽかぽか

2 上<sup>うえ</sup>の文<sup>ぶん</sup>し<sup>し</sup>よう<sup>よう</sup>に あう<sup>あう</sup>よう<sup>よう</sup>に  
よう<sup>よう</sup>すや音<sup>おと</sup>を あらわす ことばを  
かきましよう。

① 魚<sup>さかな</sup>が 〔 〕 およぐ。

② 水<sup>みず</sup>が 〔 〕 と  
しぶきを あげる。